



## 2019年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月10日

上場会社名 松本油脂製菓株式会社

上場取引所 東

コード番号 4365 URL <http://www.mtmtys.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 直樹

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部副本部長 (氏名) 山田 正幸

TEL 072-991-1001

定時株主総会開催予定日 2019年6月27日

配当支払開始予定日

2019年6月28日

有価証券報告書提出予定日 2019年6月27日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	32,803	2.1	5,255	0.6	6,397	9.8	4,534	18.4
2018年3月期	32,112	2.3	5,286	10.0	5,825	1.4	3,830	3.3

(注) 包括利益 2019年3月期 4,159百万円 (9.7%) 2018年3月期 3,791百万円 (10.6%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	1,401.19		8.9	10.4	16.0
2018年3月期	1,183.38		7.9	10.0	16.5

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 109百万円 2018年3月期 157百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	63,070	52,867	83.6	16,291.48
2018年3月期	59,850	49,677	82.7	15,302.55

(参考) 自己資本 2019年3月期 52,721百万円 2018年3月期 49,523百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	4,608	1,261	973	36,814
2018年3月期	3,447	279	1,150	33,500

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期		0.00		300.00	300.00	970	25.4	2.0
2019年3月期		0.00		350.00	350.00	1,132	25.0	2.2
2020年3月期(予想)		0.00		300.00	300.00		25.0	

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,200	1.2	5,300	0.9	5,600	12.5	3,885	14.3	1,200.47

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期	4,512,651 株	2018年3月期	4,512,651 株
期末自己株式数	2019年3月期	1,276,540 株	2018年3月期	1,276,340 株
期中平均株式数	2019年3月期	3,236,228 株	2018年3月期	3,236,558 株

(参考)個別業績の概要

2019年3月期の個別業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	32,342	2.2	5,228	0.2	6,306	10.9	4,453	19.9
2018年3月期	31,645	2.6	5,240	10.8	5,687	0.5	3,715	2.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期	1,376.07	
2018年3月期	1,147.96	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2019年3月期	61,804		51,610		83.5		15,948.20	
2018年3月期	58,562		48,472		82.8		14,977.71	

(参考) 自己資本 2019年3月期 51,610百万円 2018年3月期 48,472百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や設備投資に足踏み感が見られるものの、雇用環境の改善も持続し、緩やかな景気回復基調が続いています。一方、世界経済は、米中貿易摩擦が及ぼす影響や英国のEU離脱交渉の問題等により、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの重要な販売分野である繊維工業関連におきましては、国内では生産拠点が海外に移転し、また大手顧客の不採算製品の生産中止及び体力強化のための事業構造改革の影響による販売量の減少などもあり、依然として厳しい状態が続いております。一方、海外の繊維工業関連におきましては、長年に亘り生産拡大路線を続けてきた中国繊維産業の設備投資に陰りが見え始めています。また、前連結会計年度に一部地域で発生していた工場の環境対策工事による操業停止や生産調整はほぼ終了いたしました。各業界内での企業淘汰の兆しが見え始めています。

非繊維工業分野におきましては、国内自動車関連では新車販売が軽自動車の回復で微増となり、建築関連は東京五輪関連施設の需要もあり持ち直してきております。海外自動車関連では米国及び中国で新車販売が減少し、世界的に新車販売の伸びは頭打ちの傾向にあります。

このような状況下、当社グループでは高品質で価格競争力のある製品の開発を行うとともに、市場ニーズに合致した製品の早期開発に注力してまいりました。また、国内においては、顧客の生産拠点の海外移転への対応を柔軟に行い、海外においては、主力の中国市場以外での拡販にも注力いたしました。

以上の結果、当連結会計年度における当社グループの業績は、売上高32,803百万円(前年同期比2.1%増)、営業利益5,255百万円(前年同期比0.6%減)、経常利益6,397百万円(前年同期比9.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益4,534百万円(前年同期比18.4%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① 日本

日本における当連結会計年度の外部顧客に対する売上高は32,071百万円(前年同期比2.4%増)、セグメント利益(営業利益)は5,228百万円(前年同期比0.2%減)となりました。

陰イオン界面活性剤の分野におきましては、国内繊維メーカー各社が縮小傾向の中、これまで堅調に生産を伸ばしていた不織布分野が停滞気味となっております。海外向けでは、化合織油剤、工業用活性剤の販売が不振となり、外部顧客に対する売上高は3,063百万円(前年同期比4.2%減)となりました。

非イオン界面活性剤の分野におきましては、国内では、アパレル業界における差別化商品の生産量アップの影響で売上が回復しましたが、産業資材分野におきましては顧客による生産調整の影響で低迷しました。非繊維工業分野では自動車ケミカル製品、トイレタリー分野が堅調で、前年同期を上回る販売となりました。海外向けでは産業用繊維分野、高機能繊維分野において販売数量を伸ばしました。その結果、外部顧客に対する売上高は18,894百万円(前年同期比3.6%増)となりました。

陽・両性イオン界面活性剤の分野におきましては、国内の繊維工業関連加工剤の販売は前年同期よりやや減少し、非繊維工業分野では両性イオン界面活性剤の不採算製品を販売中止としたために販売が減少しました。しかしながら、海外向けの化合織油剤が好調であったため、外部顧客に対する売上高は905百万円(前年同期比1.6%増)となりました。

高分子・無機製品等の分野におきましては、繊維工業関連では、衣料の国内生産が低迷し、前年同期を下回る結果となりました。非繊維工業関連では、建築関連資材は低調となりましたが、自動車関連をはじめとする海外需要の取り込みもあり前年同期を上回る販売となりました。設備投資関連資材は、好調であった半導体市場の減速により前年同期を下回る販売となりました。その結果、外部顧客に対する売上高は9,208百万円(前年同期比2.3%増)となりました。

#### ② インドネシア

インドネシアにおける当連結会計年度の外部顧客に対する売上高は731百万円(前年同期比6.3%減)、セグメント利益(営業利益)は21百万円(前年同期比51.9%減)となりました。

非イオン界面活性剤の分野におきましては、スパン織物用経糸油剤は前年同期並みとなりましたが、ポリエステ

ル紡糸、コーニング油剤が順調に推移しました。その結果、外部顧客に対する売上高は399百万円（前年同期比1.6%増）となりました。

高分子・無機製品等の分野におきましては、国内の工場排水規制の強化で染工場の生産量が低下し、その影響により販売数量が減少しました。また、他社との競合等により販売単価が下落しております。その結果、外部顧客に対する売上高は320百万円（前年同期比14.1%減）となりました。

陰イオン界面活性剤及び陽・両性イオン界面活性剤の分野におきましては、販売数量、販売金額ともに大きな進展は見られず、外部顧客に対する売上高はそれぞれ6百万円（前年同期比15.0%減）及び6百万円（前年同期比27.0%減）となりました。

## （2）当期の財政状態の概況

### （資産）

当社グループの総資産は、前連結会計年度末に比べて5.4%増加し、63,070百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて6.5%増加し、49,689百万円となりました。これは、有価証券が3,083百万円減少したものの、現金及び預金が6,536百万円増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.3%増加し、13,380百万円となりました。これは、投資有価証券が446百万円減少したものの、建設仮勘定が842百万円増加したことなどによるものです。

### （負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて4.4%増加し、9,078百万円となりました。これは、買掛金が269百万円減少したものの、その他が441百万円増加したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて23.9%減少し、1,124百万円となりました。これは、厚生年金基金解散損失引当金が288百万円減少したことなどによるものです。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて0.3%増加し、10,203百万円となりました。

### （純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて6.4%増加し、52,867百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が342百万円減少したものの、利益剰余金が3,563百万円増加したことなどによるものです。

この結果自己資本比率は、前連結会計年度末の82.7%から83.6%となりました。

期末発行済株式数に基づく1株当たり純資産額は、前連結会計年度末の15,302円55銭から16,291円48銭となりました。

## （3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ、3,313百万円増加し、当連結会計年度末には、36,814百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは4,608百万円の増加（前連結会計年度は3,447百万円の増加）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益6,411百万円、減価償却費610百万円、利息及び配当金の受取額223百万円、その他の流動負債の増加額215百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額1,605百万円、為替差益718百万円、厚生年金基金解散損失引当金の減少額288百万円、仕入債務の減少額254百万円であります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは1,261百万円の減少（前連結会計年度は279百万円の減少）となりました。

収入の主な内訳は、定期預金の払戻による収入1,020百万円、支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出1,036百万円、定期預金の預入による支出1,020百万円、投資有価証券の取得による支出215百万円であります。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは973百万円の減少（前連結会計年度は1,150百万円の減少）となりました。支出の主な内訳は、配当金の支払額970百万円であります。

#### (4) 今後の見通し

今後の日本経済につきましては引き続き緩やかな回復基調が続くと見込まれるものの、海外におきましては米中貿易摩擦が及ぼす影響や英国のEU離脱交渉の問題等があり、景気の先行きは不透明な状況が続くものと思われま

す。  
このような状況ではありますが、当社グループといたしましては、より競争力のある新製品の開発、販路の拡大及び社内の合理化をこれまで以上に進め、業績の拡充と収益率の向上に努め、2020年3月期においては、連結売上高33,200百万円、連結営業利益5,300百万円、連結経常利益5,600百万円、親会社株主に帰属する当期純利益3,885百万円を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、当面は日本基準を適用することとしております。なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	30,081	36,617
受取手形及び売掛金	8,840	8,642
有価証券	3,085	1
商品及び製品	2,034	2,032
仕掛品	429	496
原材料及び貯蔵品	1,159	1,066
未収還付法人税等	0	-
その他	1,008	834
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	46,638	49,689
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,098	7,204
減価償却累計額	△5,121	△5,256
建物及び構築物 (純額)	1,977	1,947
機械装置及び運搬具	12,001	12,076
減価償却累計額	△10,092	△10,372
機械装置及び運搬具 (純額)	1,909	1,703
土地	530	529
建設仮勘定	56	898
その他	1,443	1,441
減価償却累計額	△1,312	△1,312
その他 (純額)	131	128
有形固定資産合計	4,604	5,208
無形固定資産		
その他	25	34
無形固定資産合計	25	34
投資その他の資産		
投資有価証券	7,559	7,113
その他	1,029	1,032
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	8,581	8,137
固定資産合計	13,211	13,380
資産合計	59,850	63,070

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,493	6,224
未払法人税等	791	1,001
賞与引当金	295	296
その他	1,113	1,555
流動負債合計	8,693	9,078
固定負債		
退職給付に係る負債	922	933
厚生年金基金解散損失引当金	288	-
資産除去債務	106	107
繰延税金負債	90	15
その他	71	67
固定負債合計	1,478	1,124
負債合計	10,172	10,203
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,090	6,090
資本剰余金	6,519	6,518
利益剰余金	42,747	46,310
自己株式	△7,317	△7,320
株主資本合計	48,038	51,598
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,639	1,296
為替換算調整勘定	△115	△167
退職給付に係る調整累計額	△38	△6
その他の包括利益累計額合計	1,485	1,122
非支配株主持分	153	146
純資産合計	49,677	52,867
負債純資産合計	59,850	63,070

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	32,112	32,803
売上原価	22,874	23,625
売上総利益	9,238	9,177
販売費及び一般管理費	3,951	3,922
営業利益	5,286	5,255
営業外収益		
受取利息	86	80
受取配当金	107	105
持分法による投資利益	157	109
為替差益	58	741
受取賃貸料	44	44
その他	100	79
営業外収益合計	554	1,160
営業外費用		
支払利息	0	0
投資事業組合運用損	4	9
支払手数料	2	3
損害賠償金	3	2
雑損失	4	3
営業外費用合計	15	18
経常利益	5,825	6,397
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	722	2
有価証券売却益	-	13
厚生年金基金解散損失引当金戻入額	-	19
特別利益合計	722	35
特別損失		
固定資産除却損	1	20
有価証券売却損	712	-
ゴルフ会員権評価損	0	-
退職給付費用	428	-
特別損失合計	1,142	20
税金等調整前当期純利益	5,405	6,411
法人税、住民税及び事業税	1,708	1,798
法人税等調整額	△142	75
法人税等合計	1,566	1,873
当期純利益	3,839	4,537
非支配株主に帰属する当期純利益	9	3
親会社株主に帰属する当期純利益	3,830	4,534

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	3,839	4,537
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△147	△342
為替換算調整勘定	△16	△36
退職給付に係る調整額	117	0
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	0
その他の包括利益合計	△47	△378
包括利益	3,791	4,159
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,788	4,169
非支配株主に係る包括利益	3	△9

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,090	6,518	40,050	△7,311	45,346
当期変動額					
剰余金の配当			△1,132		△1,132
親会社株主に帰属する当期純利益			3,830		3,830
自己株式の取得				△6	△6
その他		0			0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	0	2,697	△6	2,691
当期末残高	6,090	6,519	42,747	△7,317	48,038

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,786	△128	△131	1,527	162	47,036
当期変動額						
剰余金の配当						△1,132
親会社株主に帰属する当期純利益						3,830
自己株式の取得						△6
その他						0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△147	12	93	△41	△8	△50
当期変動額合計	△147	12	93	△41	△8	2,641
当期末残高	1,639	△115	△38	1,485	153	49,677

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,090	6,519	42,747	△7,317	48,038
当期変動額					
剰余金の配当			△970		△970
親会社株主に帰属する当期純利益			4,534		4,534
自己株式の取得				△2	△2
その他		△0			△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△0	3,563	△2	3,560
当期末残高	6,090	6,518	46,310	△7,320	51,598

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,639	△115	△38	1,485	153	49,677
当期変動額						
剰余金の配当						△970
親会社株主に帰属する当期純利益						4,534
自己株式の取得						△2
その他						△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△342	△52	31	△363	△7	△370
当期変動額合計	△342	△52	31	△363	△7	3,189
当期末残高	1,296	△167	△6	1,122	146	52,867

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	5,405	6,411
減価償却費	584	610
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	0
受取利息及び受取配当金	△193	△186
支払利息	0	0
為替差損益 (△は益)	△59	△718
持分法による投資損益 (△は益)	△156	△111
売上債権の増減額 (△は増加)	△310	181
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△264	2
仕入債務の増減額 (△は減少)	470	△254
投資有価証券売却損益 (△は益)	△722	△2
投資有価証券評価損益 (△は益)	8	-
賞与引当金の増減額 (△は減少)	13	1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	498	18
厚生年金基金解散損失引当金の増減額 (△は減少)	-	△288
固定資産除売却損益 (△は益)	1	20
その他の営業外損益 (△は益)	-	10
未収還付法人税等の増減額 (△は増加)	98	0
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△22	-
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△104	68
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△34	9
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	104	215
小計	5,318	5,990
利息及び配当金の受取額	231	223
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△2,102	△1,605
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,447	4,608

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の償還による収入	0	-
有形固定資産の取得による支出	△976	△1,036
有形固定資産の売却による収入	0	0
投資有価証券の取得による支出	△213	△215
投資有価証券の売却による収入	887	18
投資有価証券の償還による収入	40	3
無形固定資産の取得による支出	△6	△15
定期預金の預入による支出	△1,020	△1,020
定期預金の払戻による収入	1,020	1,020
長期貸付金の回収による収入	0	-
保険積立金の積立による支出	△65	△85
保険積立金の解約による収入	49	68
その他	3	0
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△279</b>	<b>△1,261</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△6	△2
配当金の支払額	△1,132	△970
非支配株主への配当金の支払額	△11	-
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,150</b>	<b>△973</b>
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>△48</b>	<b>939</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,968	3,313
現金及び現金同等物の期首残高	31,531	33,500
現金及び現金同等物の期末残高	33,500	36,814

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の分配の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に界面活性剤を生産・販売しており、国内においては当社が、インドネシアにおいてはマツモトユシ・インドネシアがそれぞれ独立した経営単位として各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「インドネシア」の2つを報告セグメントとしております。各報告セグメントでは、界面活性剤のほか、その他の製品を生産・販売しております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されているセグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	インドネシア	
売上高			
外部顧客への売上高	31,331	781	32,112
セグメント間の内部 売上高又は振替高	314	41	355
計	31,645	823	32,468
セグメント利益	5,240	44	5,285
セグメント資産	58,785	662	59,447
セグメント負債	10,313	222	10,535
その他の項目			
減価償却費	576	7	584
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,042	15	1,058

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	インドネシア	
売上高			
外部顧客への売上高	32,071	731	32,803
セグメント間の内部 売上高又は振替高	271	22	294
計	32,342	754	33,097
セグメント利益	5,228	21	5,250
セグメント資産	61,804	589	62,393
セグメント負債	10,194	173	10,367
その他の項目			
減価償却費	605	4	610
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,247	0	1,248

## 4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	32,468	33,097
セグメント間取引消去	△355	△294
連結財務諸表の売上高	32,112	32,803

(単位:百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	5,285	5,250
棚卸資産の調整額	1	4
連結財務諸表の営業利益	5,286	5,255

(単位:百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	59,447	62,393
セグメント間取引消去	△128	△154
棚卸資産の調整額	△8	△6
その他の調整額	539	838
連結財務諸表の資産合計	59,850	63,070

(単位:百万円)

負債	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	10,535	10,367
セグメント間取引消去	△128	△154
その他の調整額	△234	△9
連結財務諸表の負債合計	10,172	10,203

(単位:百万円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	584	610	—	—	584	610
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,058	1,248	—	—	1,058	1,248

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：百万円)

	界面活性剤	高分子・無機製品	その他	合計
外部顧客への売上高	22,736	8,721	655	32,112

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	その他の地域	合計
14,546	15,429	2,136	32,112

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
丸紅ケミックス株式会社	7,058	日本
日本クエーカー・ケミカル株式会社	4,623	日本

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：百万円)

	界面活性剤	高分子・無機製品	その他	合計
外部顧客への売上高	23,275	8,847	680	32,803

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	その他の地域	合計
14,767	15,495	2,539	32,803

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
丸紅ケミックス株式会社	7,498	日本
日本クエーカー・ケミカル株式会社	4,900	日本

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	15,302.55円	16,291.48円
1株当たり当期純利益金額	1,183.38円	1,401.19円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	3,830	4,534
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	3,830	4,534
普通株式の期中平均株式数(株)	3,236,558	3,236,228

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	49,677	52,867
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)		
(うち非支配株主持分)	(153)	(146)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	49,523	52,721
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(株)	3,236,311	3,236,111

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。